

廃資源活用型循環社会づくりプロジェクト

概要

これまで放置され、顧みられることのなかった「放置竹林」や「し尿」「浄化槽汚泥」「生ごみ」等の廃棄物系・未利用バイオマス地域資源として見つめ直し、その有効利用方法等を研究し、エネルギー転用や製品化など事業化への活用を図る。

京都府宮津市



(竹混合ペレット)



(竹を活用した食品)



(宮津市メタン発酵施設導入調査委員会)



(アンケート調査)

事業の内容

事業の内容

- (1) 竹資源有効活用プロジェクト
 - ・竹を活用した商品開発、販路開拓を目的とした事業を支援
- (2) し尿等資源有効活用プロジェクト
 - ・宮津市メタン発酵施設導入調査委員会(3回)の開催
 - ・メタン発酵消化液等の成分分析
 - ・消化液を利用して栽培した米に対するアンケート調査

総事業費 2.8百万円

ポイント

廃棄物・未利用バイオマス(「放置竹林」、「し尿」、「浄化槽汚泥」、「生ごみ」)
⇒「地域資源」として捉え、活用を図る。

事業の成果

- (1) 竹資源有効活用プロジェクト
 - ・竹を活用した食品、混合ペレット等の市内での利用の可能性を創出した。
- (2) し尿等資源有効活用プロジェクト
 - ・メタン発酵処理施設の導入に向けた検討を行い、24年度の実施計画を取りまとめた。
 - ・市内から排出された原料を使用したメタン発酵消化液等の成分、安全性を確認
 - ・メタン発酵消化液を用いて栽培された米の安全性や消費者の評価を確認